

岡田 悦典 先生

先生のプロフィール

【出身地】

神奈川県 茅ヶ崎市

【専攻】

刑事訴訟法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑事訴訟法 A、B

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

アジア諸国、特に東アジアを周ってみたいです



Q1：先生の研究内容、科目の魅力はなんですか

A：社会のことを広く学ぶことになるし、日本の社会のあり方について考えながら、社会を見る目が養えると思います。あと他の法律の分野ともすごく関わるのでそういう広がりがあるところも面白いですね。

Q2：講義時に心掛けていることはありますか

A：学生さんの反応を常に見ることを心がけております。やっぱり面白くないようなテーマだと、反応が薄かったり寝てしまう人もあるので…。聞いている人の反応を気にかけてながら、良くなかったなと思ったら改善するように心がけています。

Q3：今の専門科目に興味を持った理由はなんですか

A：模擬裁判とか、あと裁判傍聴をしたときに面白いなと思いましたね。裁判の構造等について純粋に興味を持ちました。この科目は理論的なものというよりも現実の問題を扱うので、リアリティを体感できたことがきっかけですね。

Q4：今のゼミ生の特徴・特色についてどう思いますか

A：優しくてユニークな人たちが集まっていることですね。いろんな人が楽しくやれることが特色だと思います。

Q5：今後はどういうゼミにしていきたいですか

A：今まで通りいろんな学生の皆さんが楽しく興味を持って、次のステップに移れるような意味のあるゼミにしていきたいと思います。楽しくやれるのが一番いいかなと思いますけどね。

Q6：先生が過去に担当していたゼミ（およびゼミ生）の特徴はどうでしたか

A：いろいろなゼミがその年々でありましたね。でも基本は楽しくコミュニケーションを取れることが一番いいかなと思います。楽しい学生さんが集まってくるのは特徴ですね。

Q7：先生が学生時代に勉強以外でも力を入れていたことは何ですか

A：力を入れていたのはバイクですね。結構あちこち行っていました。あとは旅行ですかね。アメリカの砂漠をドライブしたりと、かなり国際派でした。今やっていることとは全然違ってましたね。

Q8：先生が学生時代に失敗したことや後悔していることはありますか

A：失敗というより後悔というか…デートに誘ったんですけど、いまいちだったのであすればよかったという後悔がありますね。Q：どこに行ったんですか？ A：有楽町の映画館に行ったんですけど、いろいろと失敗しましたね。なんか映画の題材がいまいちだったみたいです。(笑)なのでちゃんと計画を立てた方がいいですね。

Q9：先生が現代の大学生だったらどういうことをしたいですか

A：難しいですね…でもあまり変わらないですかね。学生時代はそれぞれ模擬裁判とか、国際的な交流とかいろいろなことをやっていて一番楽しかったです。あと今行くのならアジアとかに旅行したいですね。ヒッチハイクか何かで行きたいです。

Q10：もし先生が面接官だったらどんな学生を採りたいですか

A：自分らしく飾らずに、そのままの人がいいかなと思いますね。

Q11：勝負ネクタイはありますか

A：ブルー系ですね。あと紫とか。

Q12：自分を動物に例えると？

A：昔へビやキリンと言われた記憶があります。のっぽじゃないんですけどね。あとイカに似てると言われたことがあります。褒め言葉ではないですよ(笑)

Q13：最後に学生に向けて一言お願いします

ぜひやりたいことを楽しく、思いっきりやってください。それが一番だと思います。

★ アドバンスト 岡田ゼミ の実態！（2022年度ゼミ生9名）

★岡田先生のトリセツ

- ・とても穏やかで優しい先生です
- ・過去の留学や旅行の話をしてくれます。学生時代のお話も面白いです！
- ・生徒のことをよく褒めてくださいます。
- ・授業中に質問されることもありますが、自分なりの言葉で伝えられれば大丈夫です

【日々の準備、課題】

- ・各Qに1度、報告準備（レジюме作成）
- ・各Qのまとめレポート

【長期休暇課題】

なし

▼各Qに1度報告

（今年度のQ4はその他の活動）
割り振られたテーマでレジюмеを作成し、報告します。

▼その他の活動

- ・模擬接見
- ・他大学との合同ゼミ
- ・ディベート